

## 教科目名 環境地盤工学 (Environmental Geotechnology)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1 年 (教育プログラム 第 3 学年 ○科目)

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ, 学習保証時間 23.25 時間)

担当教員 : 工藤宗治

授業の概要			
地盤と環境に係わる諸問題を相互に捉えた環境地盤工学の基礎として、まず、土の各種性状を物理・化学的な観点より理解できるようにする。次に、主として九州における事例をふまえて地盤の安定処理、地すべりやがけ崩れなどの土砂災害について概説する。又、近年発生した九州地方における災害(地盤災害)について概説し、気象も含めた地盤に関する環境問題・災害問題の理解を深める。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(E1), JABEE 目標(d1)	
(1) 土の物理・化学的な性状を理解し、これらの性状を基にして環境地盤工学の問題が説明できる。(定期試験)			
(2) 土の固化に関する基礎的なメカニズムが説明できる。(定期試験)			
(3) 地盤環境に関する諸問題に対して具体的な解決方法を提案できる。(定期試験)			
(4) 九州の地盤に関する問題を環境地盤工学の観点から説明できる。(定期試験)			
(5) 九州で発生する災害を環境地盤工学の観点から説明できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	第 1 章 環境地盤工学とは	○地盤環境工学の役割や必要性を理解できる。	【理解の度合い】
2	第 2 章 環境地盤工学の視点からの土	○土の各種性状を物理・化学的な観点より説明できる。	
3	環境地盤工学の視点からの土(1)		
4	第 3 章 地盤安定処理・浄化処理	○土の固化に関するメカニズムを説明できる。	
5	土の固化・地盤安定処理(1)		
6	土の固化・地盤安定処理(2)	○地盤安定処理工法を土の物理・化学的な観点より説明できる。	
7	土の浄化処理		
8	第 4 章 地盤の環境災害	○土砂災害を土の力学的および物理・化学的な観点より説明できる。	
9	地盤の環境災害(1)		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説	○わからなかった箇所を理解する。	【理解の度合い】
11	地盤の環境災害(2)		
12	第 5 章 九州・大分における地盤環境問題	○九州における地盤環境に関する問題を説明できる。 ○大分県における地盤環境に関する問題を説明できる。	
13	九州・大分における地盤環境問題(1)		
14	九州・大分における地盤環境問題(2)	○近年の九州の気象災害と地盤環境との関係を説明できる。	
14	第 6 章 近年の気象災害と地盤環境の関係		
15	平成 24 年 7 月九州北部豪雨災害と地盤環境の関係		
15	前期末試験		【試験の点数】 点
15	前期末試験の解答と解説	○わからなかった箇所を理解する。	
履修上の注意	講義資料としてプリントを配付するので、整理してファイリングしておくことよい。受講しながら大事な点を書き込んだりするのに使用する。		【総合達成度】
教科書	指定なし(配布プリント)		
参考図書	嘉門雅史, 他, 「地盤環境工学」, 共立出版。		
自学上の注意	土質力学, 地盤工学の基礎について事前に学習しておくこと。 また新聞・ニュース等で環境問題, 災害問題には特に関心を持っておくこと。講義ではそういった事例を随時紹介しながら進めていく。		
関連科目	地盤工学 (C 科)		
総合評価	達成目標の(1)~(5)について 2 回の試験で評価する。 総合評価 = (2 回の定期試験の平均) 総合評価が 60 点以上を合格とする。 再試験は行わない。		